

エレコム株式会社が神戸大学グラウンドに人工芝を寄付

エレコム株式会社 取締役社長 葉田順治

国立大学法人 神戸大学長 福田秀樹

エレコム株式会社（東証一部上場 パソコン周辺機器メーカー大手 本社：大阪市中央区 取締役社長：葉田順治）は、国立大学法人神戸大学（神戸市灘区 学長：福田秀樹）への人工芝工事等総額 1 億 6,000 万円規模の寄付を行うことを決定し、本日 30 日午後 1 時からグラウンドにて工事の安全を祈願し、起工式を行いました。神戸大学鶴甲第一キャンパスグラウンド（約 1.4ha）に世界最高水準の品質を持つ人工芝を敷設し、学生たちの体育授業における良好な運動環境を提供するとともに、神戸大学体育会に世界最高水準の練習環境を提供します。またエレコムがメインスポンサーを務める社会人アメリカンフットボールチーム『エレコム神戸ファイニーズ』が、神戸大学体育会のアメリカンフットボール部『神戸大学レイバンズ』と共同トレーニングを開始するなど、相互強化により各所属団体でのトップクラスの活躍が期待できる体制を構築いたします。

国立大学法人への寄付は現金の納付によるものが一般的ですが、工事規模の大きさや授業への影響、使用開始の時期等を総合的に勘案して、今回工事一式を物納する形をとることであり、平成 27 年 4 月に竣工引渡しを予定しております。

今回導入される人工芝は 65mm の毛足をもつロングパイル人工芝と呼ばれるもので、サッカー、ラグビー等の国際公式試合が開催されるグラウンドでも敷設されている、高いクッション性と高耐久性を両立した高品質のものを使用します。

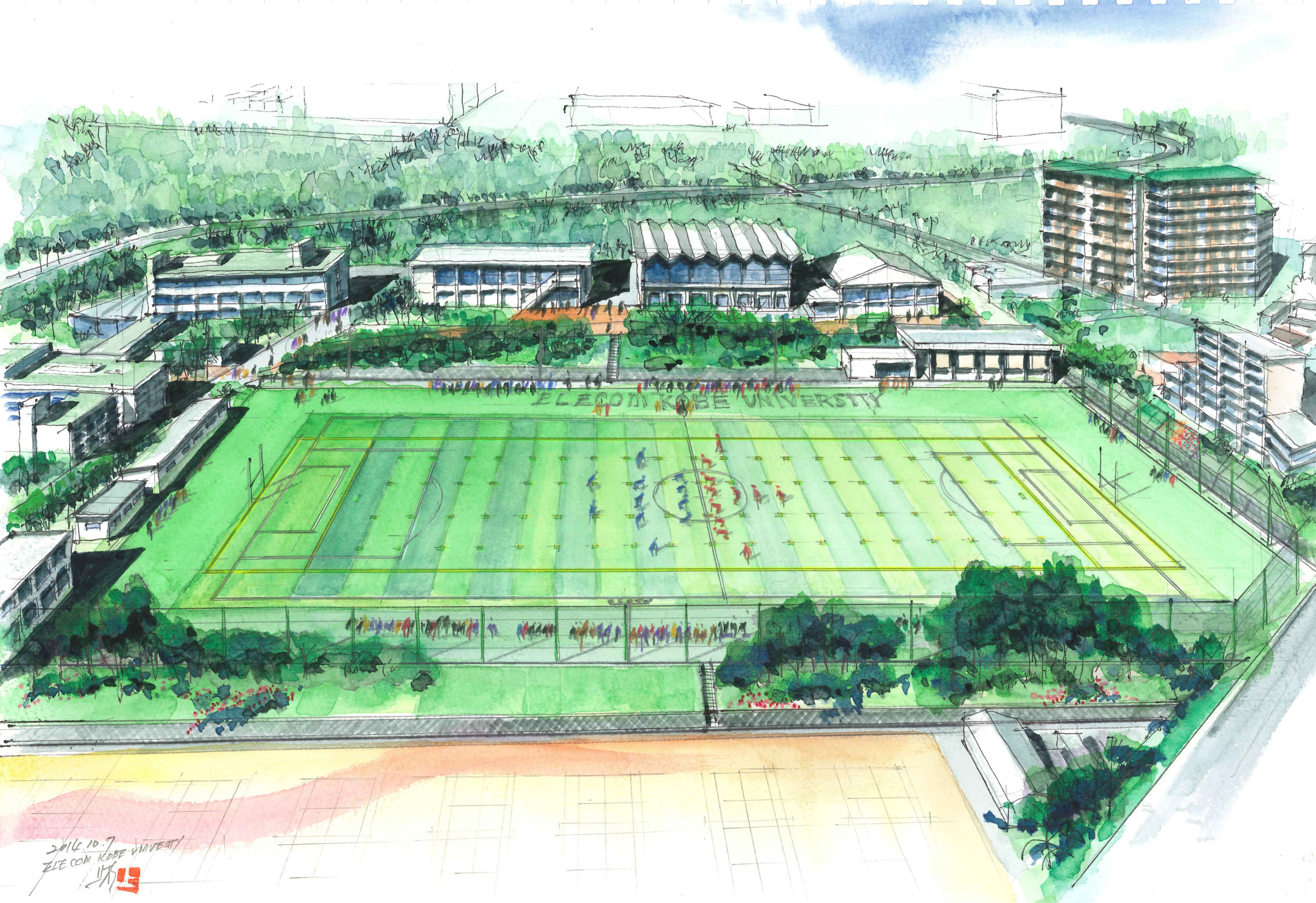
なおエレコムは今回、人工芝工事一式の他に、神戸大学の健康・スポーツ分野での学習環境向上を目的として以下の内容の全体寄付計画を決定しており、その総額は 1 億 6146 万円となります。

人工芝工事一式	1 億 3846 万円
その他トレーニングジム設備など	2300 万円

また神戸大学はこの寄付行為に対する謝意の証として、当該グラウンドを「神戸大学エレクトロムグラウンド」と名づける予定です。

〈完成予想図〉





ELECOM KOBE UNIVERSITY

2016.10.7
ELECOM KOBE UNIVERSITY
YH

